

採る位のかたハ間次衆より高座也。其外及、時宜
下より間次と組まセ堪忍也。禮樂皆者不召出候。近
羊者、宝生權太夫・春藤道保・松清太夫・止蕨五兵
衛召出也。

板飯馳走之衆ハ何夜主居の古座に堪忍候。もと
とは折紙を猿樂衆へ、板飯馳走のかたより遣候。但
近年厚紙のもの、うす板の間、一折のついで候ツ
是日、宮仕衆持出遣あり。

さて祝参献の次第、初献さうに二ニ壇にのしる
二献目玉を及亭主嘉例ニ相初。其時、太刀目録進上
也。其次こハめし、二のことくに、かからけり盛て
参。其次入麴。其次雁の汁。何も手組アリ。

此時太夫誼初仕候。此とき猿樂衆へは折紙遣也。
献とさし候て各へさしり有板飯奉行。酒奉行迄召出
也。板飯奉行先代ハ下拜上総介ハ同備後守。足司越
前守。志村越後守。葛城山城守也。酒奉行ハ秋岡兵
部少輔。得丸尾張守。兼師守伊豆守也。

試の夜、彼著到と記録所へさせ候。近年仁徳も
かハ小申候。板飯もり物、さばの物、遠方大か不定
申候。昔者近世之衆へ板飯調りか及より葦水鳥。鬼
具外厚紙を遣候て預被申候。近年何とやらん候て
所給預候ツ。昔者及目し不着衆ハ朔日対面衆之。

すことは粗畧を板飯紹介に終わった。むしろ「対面行
事とした方がよかつたかも知れない。何れともあれ業々
しい行事であつたらしい。

格式張った振舞がわかるようである。

(おわり)

紹介 宇目町内ノ指定文化財

四指定文化財

特別天然記念物 カモシカ 翠嶺一帯

県指定文化財 切支丹墓 史跡 重岡(渡辺家)

藤河内溪谷 名勝 藤河内

宇目の野生桐 天然記念物 藤河内

切支丹板鏡 史跡 中岳(佐保家)

千束 史跡 千束

大師庵空塔 建造物 権見園

宇目町指定文化財 上爪板碑 史跡 上爪(大字権見園)

崇徳寺空印塔 史跡 酒利(大字千束)

橋本五輪塔群 史跡 橋本(大字小野)

上津小野石幢 史跡 上津小野

河内石幢 史跡 田原(大字南原)

宮野観音 史跡 宮野(大字重岡)

宇目理室堂印塔 史跡 重岡(大字重岡)

市園道祖神 史跡 市園(大字重岡)

田野磨崖仏 史跡 田野(大字重岡)

赤嶺山千人間歩 史跡 赤嶺山(大字大切)

水前女郎墓 史跡 水前(大字重岡)

朝日織地跡 史跡 朝日(大字重岡)

巻つけ祭り 史跡 巻つけ(大字重岡)

河内笠地蔵 史跡 河内(大字重岡)

田原獅子 史跡 田原

田原神楽 史跡 田原

(以上)